

SCHEDULE

展覧会スケジュール 2024

企画展

2024年3月23日（土）－6月23日（日）

ICHIHARA×ART×CONNECTIONS－交差する世界とわたし

当館が位置する市原市は、全国・世界から移り住んだ数多くの人々を受け入れ、人口の50人にひとりが海外にルーツを持っている。彼らの母国、とりわけベトナム、フィリピン、韓国、中国から招いたアーティスト4名がワークショップやリサーチ、インタビューを通して作品制作を行った。そこから生まれたそれぞれの国の歴史・文化・風土、そしてこの地で暮らす人々の人生や思いに光を当てた作品は、私たちの想像力をひらいていく。

出展作家：ディン・Q・レ、リーロイ・ニュー、チョ・ウンピル、リュウ・イ

2024年7月20日（土）－9月23日（月・祝）

レイクサイドスペシフィック！

バブル経済の真ただ中で設計され、バブル崩壊後に竣工した市原市の観光・文化施設「水と彫刻の丘」のリノベーションにより生まれた当館の回遊性の高いユニークな建築空間、周辺環境から着想を得た、絵画、彫刻、写真、映像、インスタレーションなど、様々なメディアを扱う5名のアーティストによる作品群が美術館内外に展開される。

出展作家：森洋樹、石田真澄、光岡幸一、トモトシ、BIEN

2024年10月19日（土）－2025年1月13日（月・祝）

かみがつくる宇宙－マイクロとマクロの往還

紙は最も身近でありながら、無限の造形の可能性をもつ「神」のような素材である。本展では、従来の紙のイメージをくつがえす独創的な技法を展開し、「折り紙」、「彫刻」、「切り絵」とそれぞれ紙への異なるアプローチを探求する3名の女性アーティストが創り出すマイクロとマクロの宇宙を展観する。

出展作家：布施知子、安部典子、柴田あゆみ

2025年2月1日（土）－3月2日（日）

第12回市原湖畔美術館子ども絵画展

市原市在住の小学生、未就学児から公募した、想像力豊かな、個性あふれる子どもたちの絵を、アーティストのディレクションのもとに展示する。

SCHEDULE

展覧会スケジュール 2024

常設展

2024年4月4日（木）－6月23日（日）

深沢幸雄－創作人生を辿って

当館では昨年度を通して深沢幸雄の銅版画作品の変遷を4つに分類し紹介してきた。一方で、同氏は銅版画だけにとどまらず、様々な作品を残している。今年度は、その総括として同氏の創作人生を辿る展示を開催する。銅版画、ガラス絵、パステル画など、約25点を展示。

2024年6月29日（土）－9月23日（月・祝）

市原市コレクション

市原市の収蔵作品として当館が収蔵する深沢幸雄をはじめとした版画作品約20点を展示。深沢幸雄他、胡子修司、河内成幸など同市にゆかりのある著名な作家の作品を紹介する。

2024年10月1日（火）－2025年1月13日（日）

銅版画を知る－深沢幸雄の作品からみる技法と表現

銅版画にはエッチングやメゾチントなど様々な技法があり、未だ道具が確立されていなかった頃から深沢幸雄は独自の方法で創作を続けていた。その基本的な技法や表現について同氏の作品から紹介する。銅版画の基礎を体験できるワークショップも実施予定。

2025年1月21日（火）－3月23日（日）

深沢幸雄のガラス絵の世界

ガラス絵とは、透明で平面のガラスの板に専用の絵具で対象を描き、その裏から鑑賞する作品。初期のガラス絵は14世紀にヴェネチアで始まったとされ、その後日本にも技法が伝わった。本展示では、深沢幸雄が制作したガラス絵に着目し約25点を紹介する。

*メンテナンス休館：6/24～6/28、9/24～9/30、1/14～1/20

*年末年始休館：12/29～1/3

*4/1（月）、4/3（水）は、作品入れ替えのため常設展示室のみ休室いたします。

美術館や展覧会に関する詳細は、美術館HPやSNSをご覧ください。